

「齋講(ときこう)」体験記

塾生のモコです。こんにちは。

10月7日、伝統行事の「齋講(ときこう)¹」に参加させていただきました。

齋講は、皆で寺に集まって、和尚さん呼んで先祖供養を行い、同時に年忌も執り行う仏事であるとともに、稲刈りが終わった後、皆で百姓仕事を休む日でもあります。また、齋講には、「皆で集まって食事をする」という意味があり、仏事後には懇親会が行われます。



儀式の様子

前日には寺の掃除と、懇親会の料理の下ごしらえを済ませ、朱塗りの台と器にご飯(新米)・果物・お菓子を盛り付け供えます。当日の朝には、区の女性たちと一緒に、おまぜ、なます、こんにやくとサツマイモのつるの煮物を準備しました。

和尚さんがお経を読み、お言葉をいただいた後、一人ずつお焼香し、仏事は終了となりました。

その後、集会所にて行われた懇親会では、皆でにぎやかに食事をとりました。



皆で食事。男女分かれて席につく

「齋講」は、8月の「施餓鬼」

(<http://www.zb.ztv.ne.jp/hyakusho/pdf/segaki.pdf>)と同様に伝統行事の一つですが、なかには既になくなった行事もあるそうです。色川に住み始めて3カ月が経ち、短い間とはいえ「むら」の暮らしを知るにつれて、脈々と続いてきたこういった行事が、次の世代にも絶えることなく続いてほしいと願うようになりました。

来る11月に行われる「宮祭り」や「山祭り」の様子も、こちらで紹介する予定です。

¹ 私の住んでいる田垣内(たがいと)区では、「齋講」ではなく、「時講(ときこう)」と書くのが慣例になっています。